



入学前の子どもと保護者の不安を解消！ 県内初！応援ギフトをきっかけにつなぎ作り！

10月2日(水)から11月28日(木)に令和7年度に小学校に入学する前の子どもを対象に実施する就学時健康診断で、子ども家庭センターの相談員が、子どもと保護者に応援ギフトをプレゼントし、当センターや相談員の紹介・案内を行います。

当センターは設立して間もないため、市の子ども・子育てに関する総合相談窓口として認知度を向上し、相談支援の拡充が求められていました。

また、保護者にとって小学校入学前は、子どもが新しい環境に慣れていけるか、子育てと仕事が両立できるかなど、いわゆる「小1の壁」問題をはじめとしたさまざまな心配や不安を抱えやすい時期です。

スクールソーシャルワーカーや子ども家庭相談員が入学前の時期から保護者とつながることで、学校生活におけるさまざまな心配や不安について相談しやすい環境づくりを図ります。子ども家庭センターが「小1の壁」問題に着手した事業を行うことは県内初の取り組みです。

応援ギフトの製品は市のシンボルの木でもあるクスノキを用いており、ハンガーは、子どもから大人まで長く使用できるよう大きめのサイズで作製しました。キーホルダーは、子どもの権利相談室「ハッピークローバー」のイメージキャラクターで、本市の子どもの権利の象徴である「ふくちゃん」をかたどり、当センターの取り組みを身近に感じていただけます。

【事業実施 ご取材可能日】

日時：10月9日(水)13:30~14:30

場所：メイトム宗像(市久原180)

内容：・ギフト配付
・センター、相談員の紹介・案内



【就学時健診の様子】



【応援ギフトのハンガー・キーホルダー】(イメージキャラクターふくちゃん)



【子ども家庭センターとは】

令和6年4月に成立した改正児童福祉法により、「こども家庭センター」の設立が努力義務化。

本市では先行して令和5年4月に子ども家庭センターを開設し、子どもや家族の心配ごとや困りごとなどの相談を受け付け、相談内容に応じた支援を行っています。

さらに、当センターでは県内でも珍しくスクールソーシャルワーカーを配置し、小・中・義務教育学校などの児童生徒に関する相談支援も行っています。

【問い合わせ先】 ご取材いただける場合は事前にご連絡ください
宗像市子ども家庭センター(子ども相談係) 担当:城戸・本田 TEL:0940-36-1302